

平成29年度市政懇話会 地区のテーマと市の考え方

| 番号 | 地区 | 提出者 | テ ー マ 内 容 | 市 の 考 え 方 | 担 当 課 |
|----|----|-----|--|--|-------------|
| 1 | 中央 | 地区 | <p>【中央交流センターについて】</p> <p>単独の中央交流センターを建設、若しくは、空き店舗・空き家を活用して交流センターとできないか。</p> | <p>中央交流センターは、共用利用であることから、これまで施設利用について、中央地区と協議のうえ、様々な改善に取り組んできたところであります。</p> <p>現在、市では公共施設等の更新・統廃合・長寿命化など施設の適正な配置の推進と将来の財政負担の軽減・平準化を図るため「公共施設等総合管理計画」を策定し、既存の施設の状況を把握し活用策など検討しているところであります。</p> <p>今後、この地域の同様な機能を持つドリームセンター、まちなかサロン、「かっちえる」について、それぞれの施設の今以上の有効活用方法や、団体間の連携強化による地域の活性化が図れないか地区の皆さん、指定管理者等と協議し、交流センターのあり方を含め対策を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、市としては空地や空き家の活用につきましては、個人並びに民間事業所等での活用推進を図っており、公共施設としての活用は計画していないところであります。</p> <p>以上の事から、現状においては引き続き、中央地区の中心部に位置するこの交流センターを、有効活用していただきたいと考えております。</p> | 都市計画課 |
| 2 | 中央 | 地区 | <p>【環境整備について】</p> <p>①主要地方道串木野港線の曙町及び春日町の一部の歩道に、滑り止めの施工ができないか。</p> | <p>主要地方道串木野港線の歩道につきましては、平成10年頃にレンガ舗装により整備されましたが、レンガ舗装は雨の日になると滑りやすく、歩行者が転倒する恐れがあるとの事から、平成27年度に鹿児島県に対して滑り止め舗装の要望を行い平成27年度から、県において、串木野港線の病院付近や勾配のある箇所のある歩道両側約1km区間において、滑り止め舗装が施工され、平成28年度は、北浜町から本浜町の歩道ならびに春日町の一部を施工してきております。</p> <p>残りの曙町及び春日町の一部の歩道につきましては、2月に工事発注があり、3月中には施工するようになっております。</p> | 土木課 |

平成29年度市政懇話会 地区のテーマと市の考え方

| 番号 | 地区 | 提出者 | テ ー マ 内 容 | 市 の 考 え 方 | 担 当 課 |
|----|----|-----|--------------------------|--|-------------|
| | | | ②元町、市口、春日町の病院周辺の歩道整備について | <p>元町、市口、春日町の区域におきましては、歩道の電柱などが支障となり狭く、高齢者などには歩きにくい路線があります。しかし、当区域の市道には、住宅や店舗が近接しているため、新たな道路拡幅は困難であります。</p> <p>昨年度、テーマとしてあげられました市道駅・浜町線では、支障となっている電柱について、九州電力やN T Tなど現地立会いを行い、道路区域外へ移設する方法にて、費用負担など協議しているところであります。</p> <p>今後も各関係機関と継続して協議を進めて参りますが、今後の作業において移転先の確保など、まちづくり協議会や関係者の御協力を頂く場合がございます。その際は、御協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>その他の路線につきましても、既存の歩道幅員を最大限に生かす方法を研究し、道路環境の改善に努めて参ります。</p> | |

平成29年度市政懇話会 地区のテーマと市の考え方

| 番号 | 地区 | 提出者 | テ ー マ 内 容 | 市 の 考 え 方 | 担 当 課 |
|----|----|-----|---|--|-------------|
| 3 | 中央 | 地区 | <p>【その他の地域課題について】</p> <p>①まちなかサロンの備品整備について</p> <p>②本市の人口減対策について</p> <p>③商店街の活性化策について</p> | <p>まず始めに、本市の取組みについて、少し説明をさせていただきたいと思えます。</p> <p>本市の人口減少対策としては、大きな項目で申しますと、『子育て支援策の充実』、『若い世代の転入やU・Iターンの促進』、『創業支援や雇用創出のための企業誘致推進』、『婚活支援事業の充実』などの取組がございます。</p> <p>子育て支援策の充実については、出産・育児・就園・就学など、それぞれの段階に応じて、国の制度による妊婦健康診査事業・産後ケア事業・母子健康相談・不妊治療費助成などの妊娠出産に係る事業を始め、子育て支援センター・ファミリーサポートセンター・放課後児童クラブなど、育児・就園・就学に係る事業等を行っております。</p> <p>これに加えて、本市独自の事業として、未来の宝子育て支援金事業、乳児紙おむつ購入費助成事業、子ども医療費助成事業、子育て団地事業、定住促進対策事業なども実施しております。</p> <p>そのほかに、保育園・幼稚園の保育料無料化や子育て支援センター増設などの対策についても、現在、検討しているところであります。</p> <p>若い世代の転入やUターンの促進については、移住定住セミナー等での周知・広報に努めるとともに、転入者住宅建設等補助金や定住促進補助金などの補助制度の充実を図っており、年々この補助制度を活用した転入者が増加している状況にあります。</p> <p>また、平成29年4月からスタートした『空き家バンク制度』も、一定の成果が表れつつあり、12月現在で29件のバンク登録と、4件の売買及び賃貸契約が成立している状況でございます。</p> | 農政課 |